



パラスポーツを盛り上げよう

エルボー

北野煌・石川奨悟・永島大智

現状の課題

東京大会の視聴率・世論調査等

- オリンピック開会式の平均視聴率56.4%、同閉会式46.7%、20%を超えた競技も多く、全体として高い視聴率を記録
- 連日の日本人選手等の活躍を自宅で観戦した人が多く、結果的にステイホームに繋がったとも考えられる

オリンピック	日付	視聴率(世帯)	パラリンピック	日付	視聴率(世帯)
東京2020オリンピック・開会式	7月23日	56.4%	東京2020パラリンピック・開会式	8月24日	23.8%
東京2020オリンピック・閉会式	8月8日	46.7%	東京2020パラリンピック・閉会式	9月5日	20.6%

【参考：オリンピック競技視聴率】

・野球男子決勝・日本×アメリカ(8月7日):37.0% ・陸上・男子マラソン(8月8日):31.4% ・サッカー男子準決勝・日本×スペイン(8月3日):30.8%

オリンピックの開会式の視聴率と、パラリンピックの開会式の視聴率に大きな差がある。

仮説

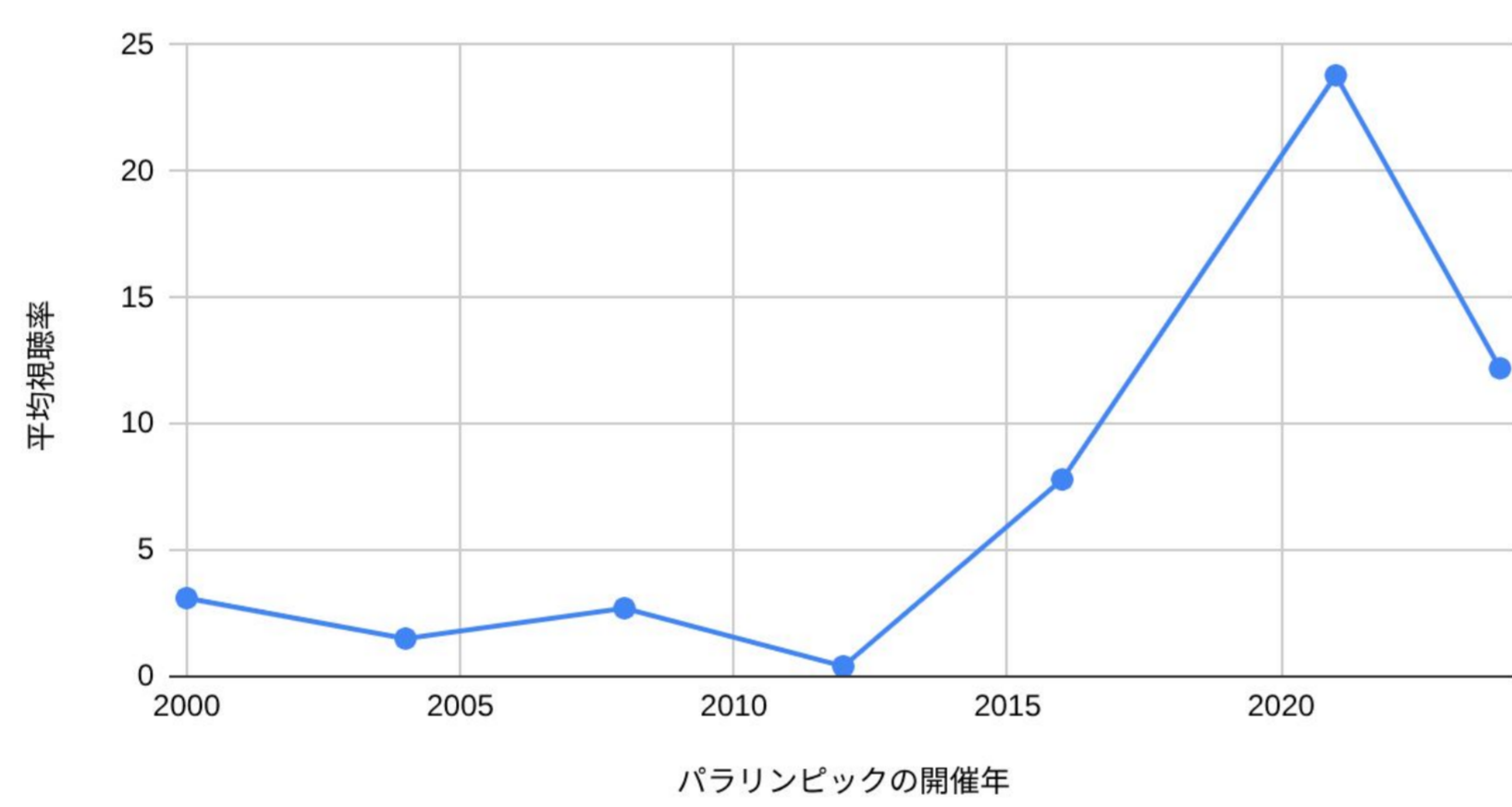
障害福祉の予算の増加と、パラスポーツの認知度が比例する。

検証方法

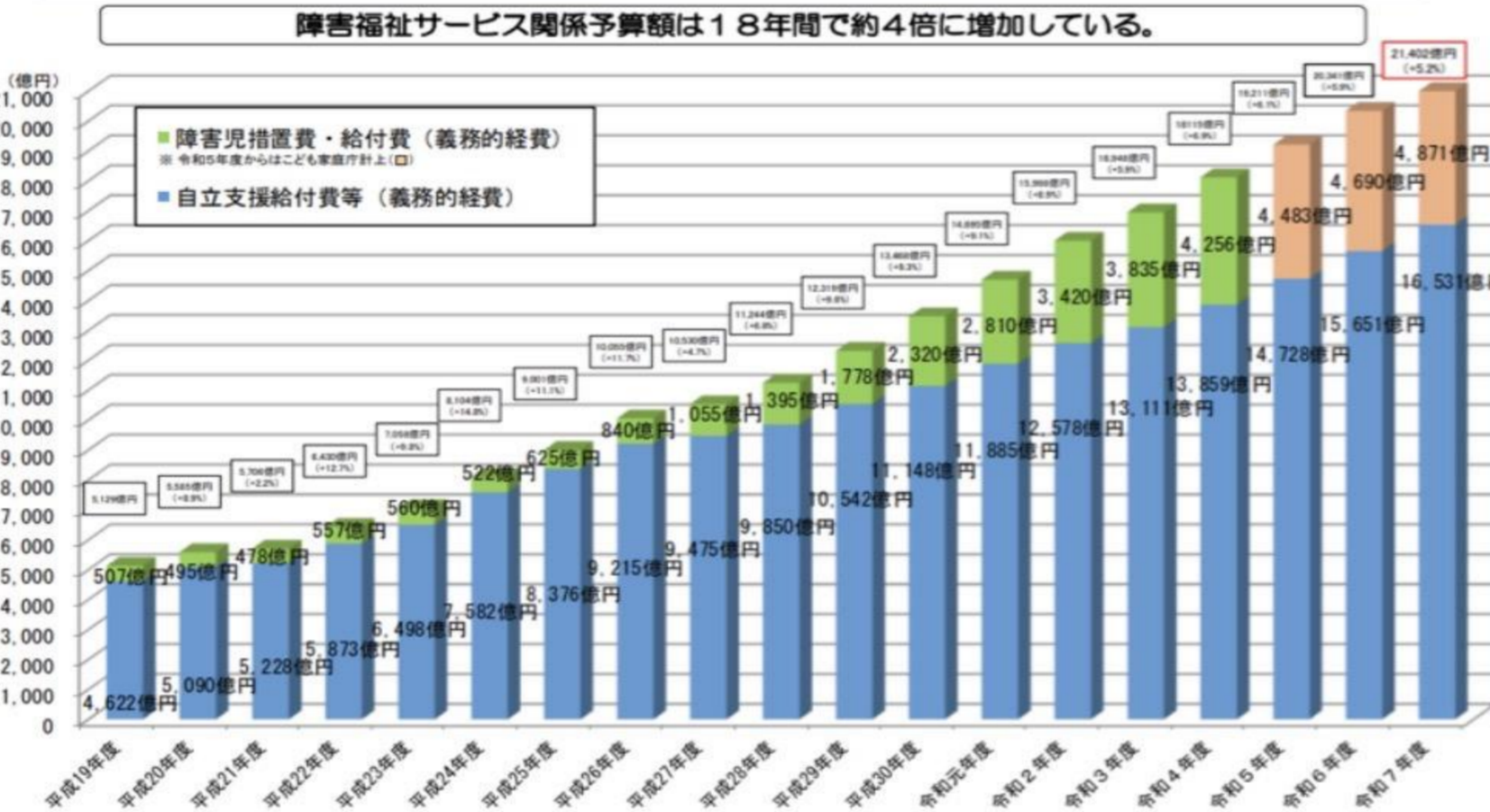
- ①スポーツニッポンにより公表されている、NHK総合によって放送されたパラリンピックの平均視聴率のデータを得た。
- ②財務省のサイトより、直近20年間の障害福祉の予算の推移データを得た。
- ③視聴率と、予算の推移の関係を調べた。

結果

2000年から～2024年のパラリンピックの開会式の平均視聴率の推移



障害福祉サービス等予算の推移



予算と視聴率ともに、年々視聴率は増加傾向にある。しかし2020年開催大会は、東京開催なので純粋なパラスポーツの注目度は測れない。

考察

パラスポーツの関心が低く、ほとんどの人がパラリンピックの開会式しかみていないことからパラリンピックの開会目的があまり達成できていない。しかし年々上がってきているため実現は近いだろう。

反省

反省はデータの量が少なく、本来したかったことができなかったことや、路線変更後の調査量が少なかったことです。

今後の展望

今後はパラスポーツの認知度増加に関する活動や新しくパラスポーツを作って流行らせたりしたいなと思いました。

出典

財務証

https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/zaiseia20241113/01.pdf

毎日新聞 <https://mainichi.jp/articles/20210811/ddr/041/050/001000c>

スポニチ <https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2021/08/26/gazo/20210826s00041000185000p.html>